



令和5年度 第1回 教育部会 (令和5年6月16日開催)

委員からのご意見・質問と区の考え方

| 番号 | 委員 | 意見・質問等 | 当日の回答 | 対応(区の考え方) | 担当 |
|----|------|--|--|---|------------------|
| 1 | 岡村委員 | 【プレーパーク事業について】 もと津守小学校・幼稚園でのプレーパーク開催が現在中止していることについて、中止になった回数は補われるのかどうかについて教えてほしい。 | 利用者の安全が第一であると考えており、安全が確認できるまでは開催が難しいと思っております。安全が確認できない場合は、出張開催を増やすことや、別の場所での開催を検討することが必要であると考えております。 | 当日の回答のとおり | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 2 | 岡村委員 | 【プレーパーク事業の巡回開催について】 中学校での開催について、ご説明いただきたい。 | 現在使われている学校の設備を使って何ができるのかを検討しているところでございます。 | 当日の回答のとおり | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 3 | 岡村委員 | 【出張プレーパークの費用について】 もと津守小学校・幼稚園に比べてどこに費用がかかっているのか教えていただきたい。 | 物資等の搬送するための費用が大きな違いであると考えております。 | 当日の回答のとおり | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 4 | 岡村委員 | 【障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業について】 アウトリーチを行って支援機関につなぐことができた方について、つなげた後の調査やフォローについて説明いただきたい。 | つないだ後に定着するための支援も非常に重要であると認識しておりますので、支援が定着するように事業を進めて参りたいと思います。 | 当日の回答のとおり | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 5 | 岡村委員 | 【こども生活・まなびサポート事業について】 大阪府は全国でも不登校が多く、西成区はその平均よりも多い。難しい問題なので、辛抱強くしっかりとやっていただきたい。 | — | ご意見を踏まえ、今後も不登校児童生徒の支援に努めてまいりたいと考えております。 | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 6 | 岡村委員 | 【その他】 評判の良くない給食業者が西成区の学校にも入ることが決まり、子どもが置かれている環境が良くないことを問題視している。しっかりと目を光らせて指導していただきたい。 | — | いただいたご意見につきましては、学校給食を所管する教育委員会事務局へ情報共有させていただきました。 | 保健福祉課 (子育て支援) |

| 番号 | 委員 | 意見・質問等 | 当日の回答 | 対応(区の考え方) | 担当 |
|----|---------------|---|-------|---|------------------|
| 7 | 伊藤委員 【意見票】 | 【プレーパーク事業の巡回開催について】 居場所としてのプレーパークの意義は「常にそこにある」ことであるため、巡回型開催日数と開催箇所を増やすことはいいことであるが、そのために常設を閉じる弊害について、プレーワーカーの意見を伺いたい。 | - | こどもの居場所は選択肢が多いほうがいいのではないかという考えもあり、定点的な開催についてはそういった点も踏まえて総合的に考えていきたいと思います。 | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 8 | 伊藤委員 【意見票】 | 【プレーパーク事業の目標値について】 1日の平均来場者数を目標値としているが、会場のキャパや当日の天候、人的資源が来場者数の変動の要因となりうるため、要因も含めて評価すべきである。来場者数が少ない日についても、現場が成果を上げているという日があれば、言語化し、見直すことが事業の価値に直結する。数量測定できる目標値だけでなく、本来の期待値とは何か、重層的な視点が欠かせない。質的な評価を構築できるよう西成区の子育て事情をよく知る外部の有識者も交えた議論展開をしていただきたい。 | - | 本市運営方針における指標は定量的な指標とするように統一的に定められているため、プレーパーク事業は一日当たりの平均来場者数を指標として設定しております。 ご意見をいただきました利用者の満足感や意識など数的な測定が困難な定性的なものについても、アンケートを実施するなど、質的な評価に繋がっていきたいと考えております。 また、西成特区構想エリアマネジメント協議会こども子育て専門部会においても外部有識者を含めた意見を聴取しており、今後の事業展開に活かしていきたいと考えております。 | 保健福祉課 (子育て支援) |
| 9 | 伊藤委員 【意見票】 | 【プレーパーク事業の課題と今後の取り組みについて】 「こどもの声」を聴き取るアプローチを、加えていただきたい。令和5年度の運営方針にも反映させていただきたい。 | - | 昨年度プレーパークで実施したイベントのうち、夏の盆踊り、冬のジャガナリエについては参加する子ども達からの発案で実施に至りました。今後も参加者アンケートなどからこどもの意見を聞き取る工夫をしていきたいと考えております。 | 保健福祉課 (子育て支援) |